

2018年4月2日発行

プレスリリース



関係各位

2018年度 入社式あいさつ

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社（TOKYO MX）では、

6名（男性3名・女性3名）の新入社員が入社しました。

本日の「2018年度入社式」で

後藤会長、河内社長が新入社員に向けて

それぞれ次のように挨拶しました。

本件に関するお問い合わせ
TOKYO MX 総務局総務部

2018年4月2日 入社式 会長・社長あいさつ

【挨拶】後藤 亘 代表取締役会長

『ポジティブにチャレンジし続ける放送人であれ』

ようこそT O K Y O M Xへ。新入社員の皆さん6名の入社を心から歓迎します。

今日のテレビ業界はインターネットの急速な進展により、大きな変革期に突入しています。まさに変革の時代ではありますが、失敗を恐れては何もできません。そういう時代だからこそ、挑戦する姿勢が必要なのです。トライ&エラー、この挑戦の繰り返しにより、新しいものが生み出されていくのです。

仕事というものは、人と人の付き合いで始まります。多くの人と付き合う事で、自然と多くの情報が集まり、それが仕事に活きるのです。仕事出来る、出来ないは、人との深いネットワークをどれだけ持っているかだと思います。新たな仕事に取り組んだ結果、失敗する事もあるでしょう。しかし、そういう時こそ、人と人のつながりが思わぬヒントを与えてくれる事もあります。

私のこれまでの人生を振り返ってみると、何か大変なことを乗り越えた時に、自分が大きく変化しています。多くの人と接する事によって、あなた方の未来が見えてくるのです。

テレビ局に入社したからには、例えインターネットと融合した時代であっても、「ジャーナリズムを基本とした考え方を持ったうえで、視聴者にモノの価値観を伝えていくのだ」という気持ちを、常日頃から忘れずに持っていてもらいたいと思います。そして、「世界に向けてT O K Y O M Xから情報発信をしていくのだ！」という「放送人としての高い志」を持って仕事に取り組んでほしい。

仕事は義務でするものではありません。面白いからするのです。恐れずに自信をもって、仕事を楽しんでください。

【挨拶】河内 功 代表取締役社長

『誠実が基本』

本日は入社おめでとうございます。

皆さんをここにお迎えすることができて大変嬉しく思っています。

当社は、22年前に開局いたしました。ちょうど皆さんが生まれた頃にM Xも生まれたのです。

その当時は携帯電話やパソコンが普及し始めた頃でもありました。その後 2004 年頃にスマートフォンが日本で初めて発売された、そういった時期でした。

当社がスカイツリーから電波を発射するようになって、受信世帯は首都圏の1,500万世帯となり、番組「5時に夢中！」やアニメ編成などで、ようやく皆さんに知っていただける局になって参りました。

但しこれからが正念場です。一步一步地歩を固めて、堅実な成長と発展を遂げるために、いま懸命になって努力しているところであります。

当社がここまで来るまでには、経営の不安定な時期もありました。それを乗り越えるために後藤会長のもと、多くの先人、先達の皆様のご尽力、ご苦勞がありました。

先ほど後藤会長から詳しく話がありましたが、いま世の中はインターネットの驚異的な伸長により、メディアをめぐる経営環境は激変しております。しかしながら、テレビは一番信頼できるメディアでありテレビの信頼は揺るがないという調査結果も出ています。

我々にとって一番大事なことは何か、それは「いかに信頼され、価値ある情報やコンテンツを視聴者に届けられるかどうか」という点です。

皆さんにはメディア新時代に相応しい、質の高い独自性のあるコンテンツの開発、価値ある情報の発信が放送局の使命であることを強く意識し、また、放送人として倫理観を強く意識し、勇気を持って誠実に生き抜いて欲しいと心から思っています。

ビジネスもジャーナリズムも、その根本は、唯一「誠実さ」にあると思います。誠実さを貫くということを常に心に留め、何かあった時は思い出し、これからの人生の指針として欲しいと思います。

皆さんのご活躍を心から期待しています。

以上